



令和6年元日ア  
ジア研修セン  
ター屋上から  
望む初日の出

企画・編集 澁谷 健司・栗又 由利子

令和6年が明けました。新年早々の大地震、航空機事故と、私達日本人のみならず、現在日本に滞在中の実習生の皆さん、また母国に残っている実習生の家族の皆さんも、大変不安な新年を迎えたことでしょう。当校で学ぶ実習生の皆さんからも、先週は不安の声が沢山聞こえてきました。

一方で、今年の干支は甲辰（きのえたつ）。甲（きのえ）は、物事の始まりを意味し、辰（たつ）は天空に勢いよく舞い上がる伝説上の生き物であることから、甲辰の年は、成功への一歩が始まる年とされているそうです。

当校で学ぶ皆さんの1年が、将来の成功への第一歩の年となるように、日本語講師・スタッフ一同一丸となって、実習生の皆さんの日本語学習、また寮生活をサポートして参りますので、本年も当校教育活動へのご理解・ご協力、どうぞよろしくお願い致します。

## あじけんスコープ Vol.126 ~ アジアの言葉で「あけましておめでとうございます」~



新年最初のあじけんスコープは、現在4階ロビーの展示コーナーに掲示中の作品を紹介いたします。この作品は、実習生の皆さんが新年の最初の授業で作成しました。日本語の新年のあいさつ「あけましておめでとうございます」が自分たちの国の言語（タガログ語・ミャンマー語・中国語・モンゴル語・インドネシア語・ベトナム語・タイ語・カンボジア語）で書かれています。また、それぞれの国で新年に食べる料理も紹介されています。今年も、実習生の皆さんの学習活動の様子をこの展示コーナーを活用して、紹介していきたいと思ひます。

## 今月の実習生

今月は、インドネシア人のクラスメイトと共に、須賀神社（寮から徒歩15分）に、初詣に行ったミャンマー人介護実習生 KHAING ZIN HTUN（ジン）さんと、クラスメイトのインドネシア人の皆さんを紹介させていただきます。

私はツンごよ、ミャンマーから来た。私のクラスはミャンマー人が多く、私を1月8日のインドネシア人の友達たちがはつもうごに誘ってくれました。神社は馬の近くにありました。神社はとても清潔で綺麗でした。写真を撮るための良い場所がたくさんありました。私たちは年始に行きたので神社は順番やかび多くのかいしました。神社の中には色んな店もありました。自撮りをするとき優しい日本人がこの写真を撮ってくれました。私たちは本当に楽しかったです。



向かって左から ALIFIA AYU NANDA（アユ）さん・ジンさん・NUR NAFSI JANNATY（ジャネット）さん・YULI YULIANTI（ユリ）さん・DESIH RATNSARI（デシー）さん

# あじけん流日本語授業

## ～「干支」についての授業～

今月のあじけん流日本語授業は、年始ならではの授業をご紹介します。

今回の年始の授業では、「干支」を取り上げることにしました。まず、日本の干支の呼び方を学習し（写真①）、それぞれの干支が日本語で何の動物を示しているか確認しました。次に、それぞれの国の「干支」をその国の言葉で板書してもらい、その意味を確認し、発音もクラス全員で練習しました（写真②）。

日本と他の国では干支の動物の中でいくつか違う動物があるので「せんせい、ねこがいません！」「せんせい、ひつじとやぎはちがいますか？」「せんせい、いのししってなんですか？」などの質問が飛び交っていました。

最後に、同じ干支の実習生同士で、自分たちの干支を日本語で「わたしたちは、〇〇どしです。」と発表をしました（写真③④）。自分の干支が日本語で言えることは、業務上大切なことではないかもしれませんが、実習先での日本人とのちょっとしたコミュニケーションのきっかけになり得ると考えています。

この授業にかかった時間は1時間程度と短い時間ですが、これから先の実習生生活において、「日本人との対話」という面で役に立つのではないかと思います。今年は、実習という実習生の本分に必要な日本語を指導していくことはもちろん、このような、日本人との交流が深まる日本語についても力を入れていきたいと考えております。

本年も当校の日本語指導にご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



写真1：日本の干支を学習しました



写真2：モンゴルの干支を発表しています

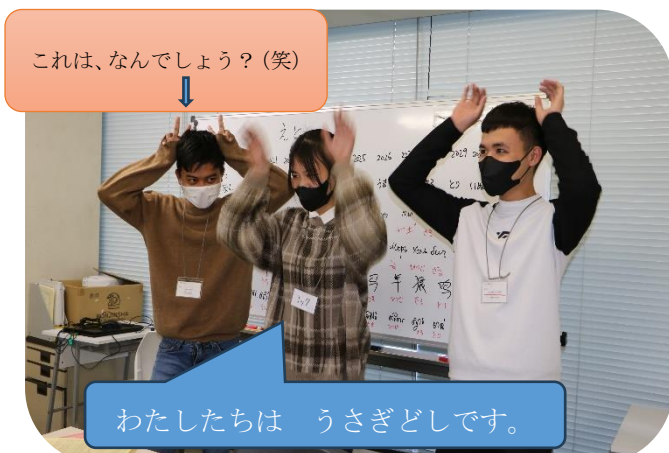


写真3：うさぎどしのカンボジア、ベトナム実習生のパフォーマンス



写真4：講師も「さるどし」でした

※ 当校ホームページ <http://www.ajiken.jp/> から「あじけん通信」バックナンバーもご覧になれます。